

## ◇扶和メタル、創業110周年記念パーティーを開催

扶和メタル(本社=大阪市中央区、勝山正明社長)は3日、創業110周年を祝う記念パーティーを大阪市内のザ・リッツ・カールトン大阪で開催し、同社のグループ社員や家族、OBなどおよそ130名が参集した。創業から現在に至るまでの社歴と次世代への挑戦を転がる球体を用いて表現した創作ビデオの上映、社員による歌と演奏、ハワイ旅行を始めとした豪華賞品が当たる抽選会など趣向を凝らした催しが企画され、会場は度々笑いの渦に包まれるなど大きな盛り上がりを見せた。



冒頭、あいさつに立った勝山社長=写真=は創業家へ謝辞を述べた後、「働き方改革を導入したことで全支店が黒字化し、社業発展に拍車がかかっている」と続け、社員を前に「今後目指すべき目標」として「扱い数量の倍増」、「海外事業の発展」、「新規事業の立ち上げ」の3点に注力していく考えを示した。

「扱い数量の倍増」については「グループで年間約100万トンの扱い数量を200万トンに伸ばす」ことが「次の世代にバトンを渡すまでの目標」だと表明し、「海外事業の発展」に関しては「東南アジアを中心に海外拠点を設け、ヤード経営に携わっていきたい」意向を披露。さらに「同業種にとどまらず異業種ビジネスにも力を入れていく考えだ」と話し、「例えば教育、介護、食品、地方自治体への支援などをコンセプトとして新規事業を立ち上げたい」と抱負を語った。

勝山社長は「新たな可能性へチャレンジし、当社の信念である『10年先を見据えて』、そして黒川友二会長の教えである『黒川語録』を忘れずに、これからも成長していく企業として舵を取っていく所存だ」などと述べ、さらなる飛躍へ向けて強い意欲を示した。

<Web閲覧システムには11月5日14時34分に掲載>